目　次

保証書

⚠ 安全にお使いいただくために …… 2

1．連結・切り離しの方法…… 3
　1・1　連結 …… 3
　1・2　切り離し …… 6

2．CD-1200 型、CD-1600 型、CD-2000 型
　2 軸式カプラの概要と特徴 …… 7

3．主要諸元 …… 8

4．各部の名称 …… 8

5．構造 …… 9
　5・1　ジョー機構 …… 9
　5・2　安全装置 …… 9
　5・3　操作機構 ……10
　5・4　軸受機構 ……10
　5・5　カプラベース ……12
　5・6　ブラケット（ペデストル）とサブベース（マウンティングプレート） ……12

6．点検と手入れ ……12
　6・1　点検と手入れの方法 ……12
　6・2　日常点検 ……13
　6・3　1 ケ月毎の定期点検 ……14
　6・4　6 ケ月毎の定期点検 ……15

7．主要部品の寸法と使用限度 ……16

8．ビームシャフトとベース本体との隙間修正 ……17

9．ジョー内径の調整要領 ……17

10．パーツリスト …… 21 ～ 26

⚠ 安全にお使いいただくために

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。お読みになった後は、この取扱説明書をお使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を表示しています。
その表示の意味は次のようになっています。

⚠警告

取り扱いを誤ると人身事故を起こすおそれがあるものについて、必ず守っていただきたいこと。

⚠注意

取り扱いを誤ると事故や故障を起こすおそれがあるものについて、必ず守っていただきたいこと。

アドバイス

損傷防止や機能を維持するために守っていただきたいこと。知っておくと役立つこと。

1. 連結・切り離しの方法

連結、切り離しの操作は堅く平らな路面で行い、かつトラクタとトレーラはできるだけ直線になるように行って下さい。
連結、切り離し時は、トレーラに駐車ブレーキが掛かっていることを必ず確認して下さい。

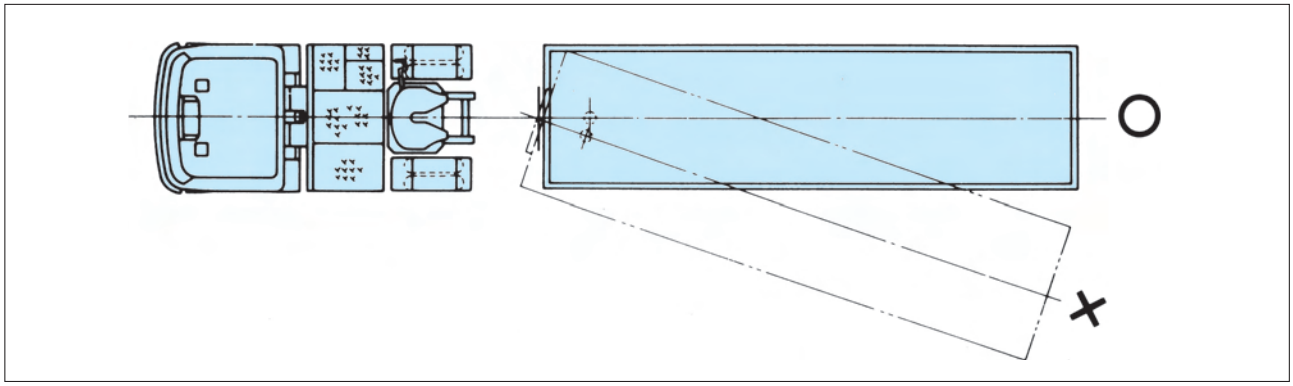


図 1

⚠ 注意

曲がっていたり、でこぼこ道など、平らでないところでの連結は高さの調整ができにくく、カップリングピン（キングピン）が車両やカプラに接触し、カプラ及びカップリングピン（キングピン）を壊します。

1·1 連結

(1) 連結の前にはカプラのジョーが開いていることを確認してください。
もしも閉じている場合には操作ハンドルを引いてジョーを開いて下さい。

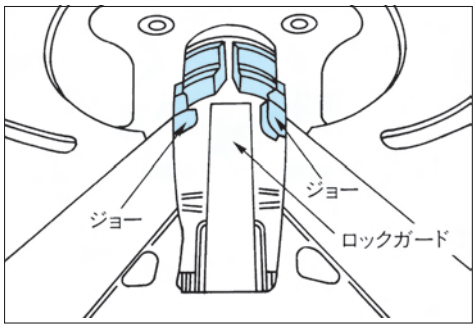


図 2

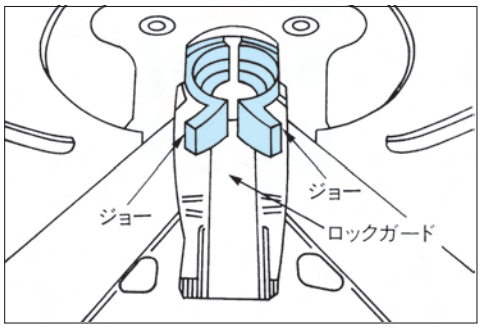


図 3

○（ジョーが開いている状態）　×（ジョーが閉じている状態）

⚠ 注意

カプラのジョーが閉じたまま連結を行うとカップリングピン（キングピン）を傷付けるだけでなくカプラの心臓部であるジョーを壊し、カプラからトレーラが外れて事故につながります。
尚、ジョーが開いている状態では絶対に操作ハンドル以外の作動部位に手足を触れないで下さい。これらが作動したとき怪我をすることがあります。

(2) トレーラのランディングギヤーを操作して高さを調整します。
カップリングピンプレート（キングピンプレート）の高さをカプラ中心の上端高さより10mm ～ 50mm 低い位置に合わせて下さい。
尚、エアサストラクタの場合、カップリングピン（キングピン）の真下でカプラの高さを上げて調整を行うことは連結不良の原因となりますので絶対に行わないで下さい。

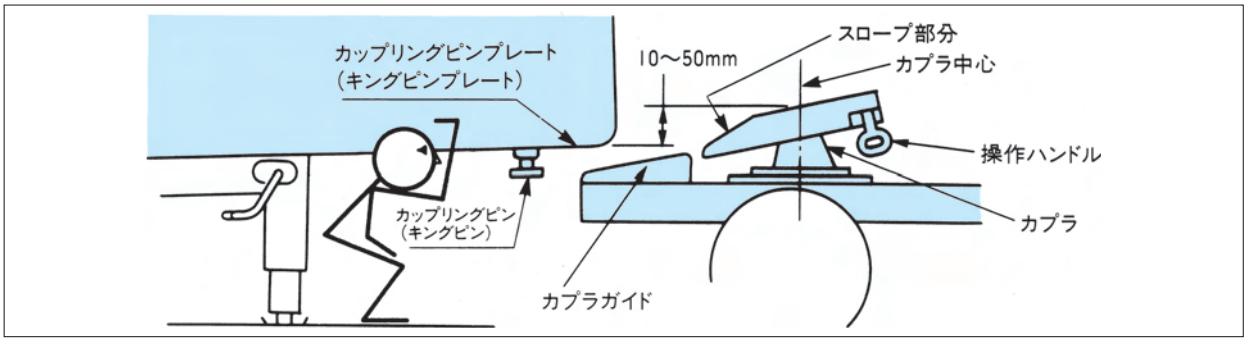


図 4

⚠ 警告

高さの調整を誤るとカプラを壊すばかりでなく、低すぎるとトラクタとトレーラが衝突し、高すぎるとカップリングピン（キングピン）がジョーの上に載ってしまいそのまま発進するとトラクタからトレーラが外れて事故になります。

(3) トレーラを連結してカプラのジョーが閉じると、メータパネル内のカプラロック表示ランプが点灯します。
尚、連結の確認はストッパ位置、さらにカップリングピン（キングピン）が正しい位置にロックされているかを目視により確認して下さい。

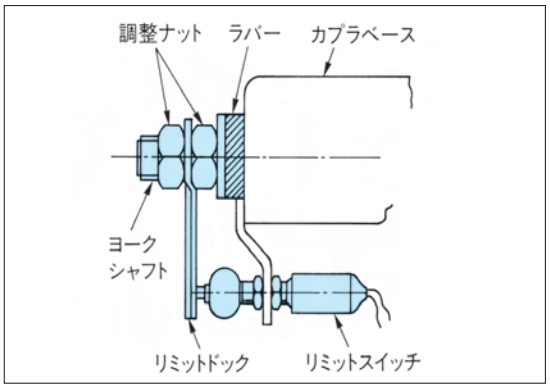


図 5

（例）

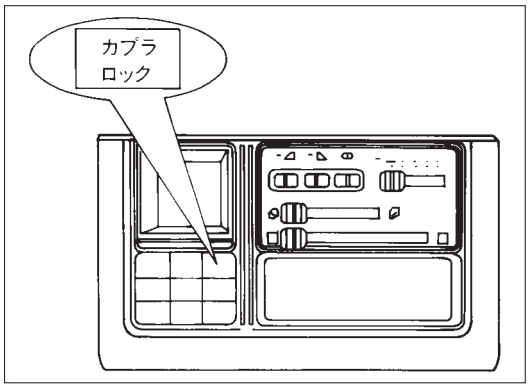


図 6

アドバイス

カップリングピン（キングピン）が確実に正しい位置にロックしてもカプラロック表示ランプがつかない場合は次の原因が考えられますので点検修理して下さい。
(1) ランプの玉切れ。
(2) 電気配線の断線または、接続不良。
(3) リミットスイッチの故障。
(4) チェンジレバーがバックに入っていない。
又、連結が完了していない状態（または、トレーラを切り離した状態）でチェンジレバーをバックに入れた時に、メータパネル内のカプラロック表示ランプが点灯する場合は、リミットスイッチの故障が考えられますので、点検修理して下さい。

(4) カプラの操作ハンドルが完全に戻ってストッパが掛かっていること、さらにカップリングピン（キングピン）が正しい位置にロックされていることを、安全のため目視により確認してください。ストッパが掛かっていない場合や、カップリングピン（キングピン）が正しい位置にロックされていない場合は連結が完了していません。もう一度、連結操作を繰り返して正しい位置にロックされたことを目視により確認してください。

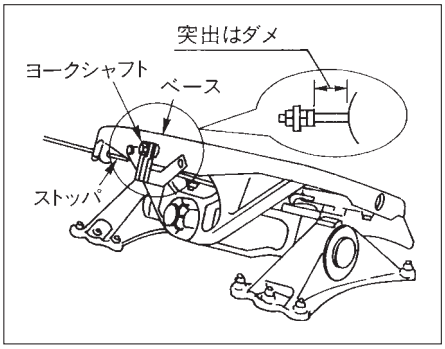


図 7

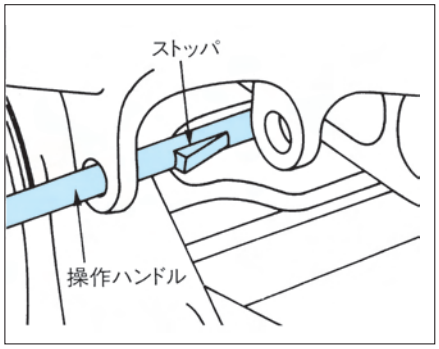


図 8

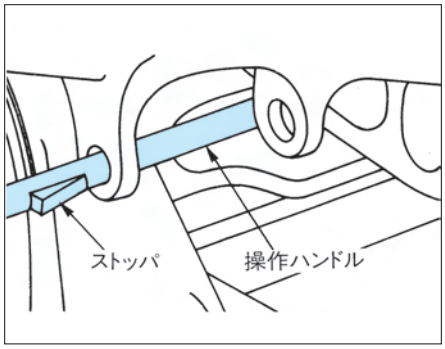


図 9

○（ストッパが掛かっている状態）　　×（ストッパが掛かっていない状態）

⚠ 警告

目視による確認をしないまま発進すると、リミットスイッチの不具合などによる誤作動や連結不良などにより、トレーラが外れて事故になる恐れがあります。

(5) カプラベース面とカップリングピンプレート（キングピンプレート）の面にスキマがないことを確認してください。スキマがある場合には、正しい連結ではありません。一旦切り離して連結し直してください。

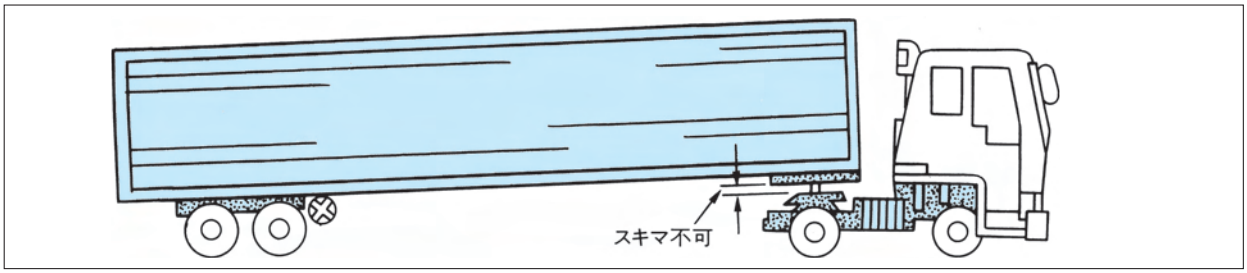


図 10

⚠ 警告

スキマがある状態のままで発進すると、トレーラが外れて事故になります。

(6) 連結の確認が完了したら、発進時にトレーラ側の駐車ブレーキを掛けたままでトラクタを前後に動かし、確実に連結されていることを確認してから走行して下さい。

⚠ 注意

確実に連結されていることを確認しないまま走行すると、連結不良などによりトレーラが外れて大事故になる恐れがあります。

アドバイス

運転中に休憩などで車両から離れたときには、いたずらなどによりカプラの操作ハンドルが引かれていないかを必ず確認してから発進して下さい。

⚠ 注意

確認せずに、操作ハンドルが引かれたまま発進すると、トレーラが外れ事故になります。

1·2 切り離し

(1) 切り離しの時には必ずトレーラ側の駐車ブレーキをかけておいて下さい。
(2) 切り離し時には、カプラに上下方向の荷重が掛かっている状態で切り離しを行って下さい。荷重が掛かっている状態で切り離しを行うと、カプラの荷重が減ってくるとトラクタのカプラ地上高が上がりカプラ後端をトレーラで押し下げる働きをし、次回の連結性が良くなります。

⚠ 注意

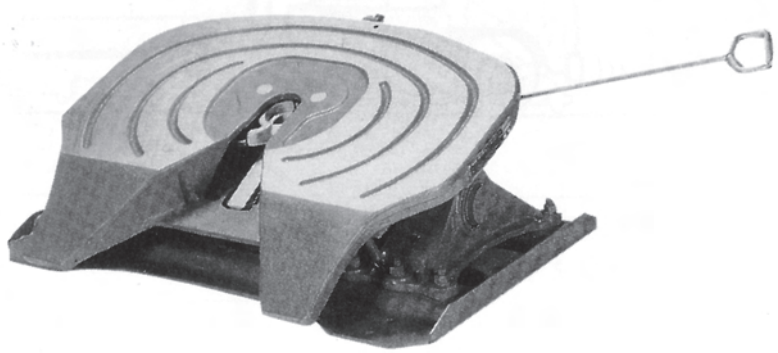
切り離し時に駐車ブレーキをかけずにおくと、トレーラが何らかの原因で動く可能性があり危険です。

(3) 操作ハンドルの握り部分を車両後方側に軽く押したまま（ガイド穴部分のストッパを外した状態）操作ハンドルを手前に力一杯引き出し、戻されないようにロックします。
(4) ブレーキホースやケーブルを切り離し、トラクタを前進させるとトレーラは切り離れます。

アドバイス

ジョーとカップリングピン（キングピン）の間で引っ張りあっていてジョーの解除が困難なときは、トラクタをゆっくり後退させて後方に力を掛けた状態で、パーキングブレーキを効かせると容易に操作が出来る場合があります。

2. CD-1200 型、CD-1600 型、CD-2000 型 2 軸式カプラの概要と特徴



2·1 ジョー機構は、内径調整装置付の 2 段グリップ式ですから耐久性に富んでいます。

2·2 二重安全機構（セカンダリロック・ストッパ）、不良連結防止機構（ロックガード）、連結確認装置（リミットスイッチ）、等の装置を備え、安全性を考慮したカプラです。

2·3 操作ハンドルは、手前に引くワンタッチ式で効率の良いカムプレートを使った軽い操作機構です。

2·4 軸受機構は、堅牢なビームシャフトを使ったスパイダ方式で、ピッチング及びローリング運動を自由に行うことができ、分解整備性に優れた機構です。

2·5 ローリング角度の調整は、アジャスティングウェジの固定ナットを緩めて前後にスライドさせることにより、0 度、3 度、6 度と 3 段階に調整出来ます。
なお、高速トレーラや高重心のトレーラを専門にけん引するトラクタで、横転や荷崩れを防止する為にローリング角度を常に 0 度として使用する場合には、ラバーマウント式の CP-2010 型（許容第五輪荷重 20 トン）、CP-2510 型（許容第五輪荷重 25 トン）のご使用をおすすめします。

2·6 カプラベースは、特殊鋳鋼製ですから、強靭でかつ軽量化が図られています。

2·7 ブラケット（ペデストル）取付穴は、ISO 規格及び JIS 規格に適合し、互換性が図られています。

3. 主要諸元

カプラ形式	許容第５輪荷重（トン）	カップリングピンサイズ (キングピンサイズ) (mm) (in)	ピッチング角度 (°)	ローリング角度 (°)	カプラ全高 H (mm)	カプラ本体高 h (mm)	カプラ本体質量 kg
CD-1200	12	呼び50(2インチ)	F14/R14	3.6	290	250	236
CD-1600	16	〃	〃	〃	295	255	252
CD-2000	20	〃	〃	〃	〃	〃	256

4. 各部の名称

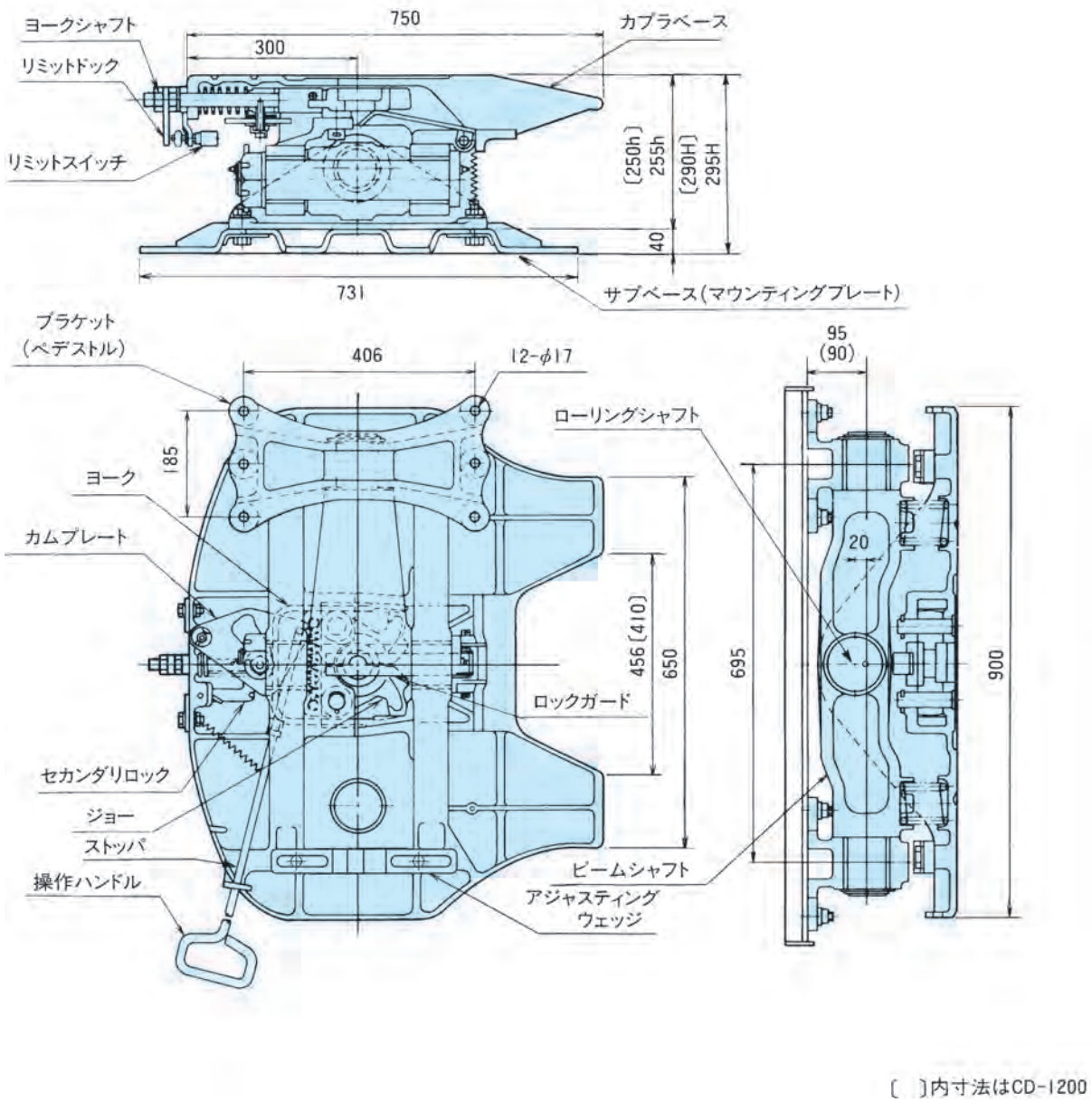


図 11

5. 構造

5-1 ジョー機構

ジョーは図 12 のような形状の 2 段グリップ方式で、カップリングピン（キングピン）の肩とくびの全周を確実にグリップする耐久性に優れた構造です。

カップリングピン（キングピン）またはジョーが摩耗して、ガタが発生した時には、カプラの先端にある調整ナットで調整できます。（9. ジョー内径の調整要領参照）

ジョーの開閉機構は独特のスライドヨーク式で操作ハンドルと連結されたカムプレートを動かすことによって先端がくさび状になったヨークがスライドしてジョーの先端部を確実にロックします。

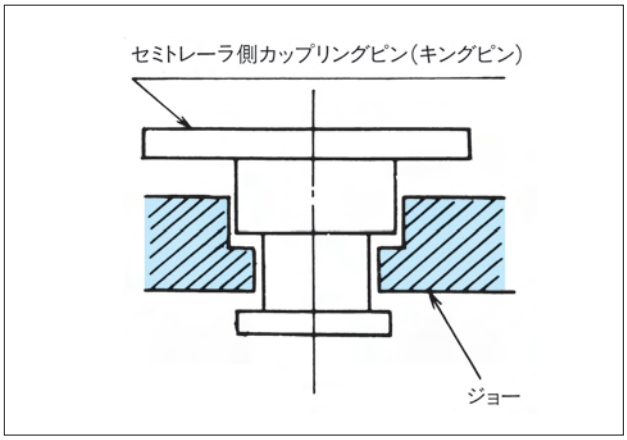


図 12

5-2 安全装置

CD-1200 型、CD-1600 型、CD-2000 型、2 軸式カプラには、次の安全装置が設けてあります。

セカンダリロックは走行中に不測の事態によりジョーが開くのを防止します。（図 13）

ロックガードはトレーラを切り離した時に開いたジョーの間に入り込み、次の連結を容易にし、不良連結を防止するために設けられています。（図 14、15）

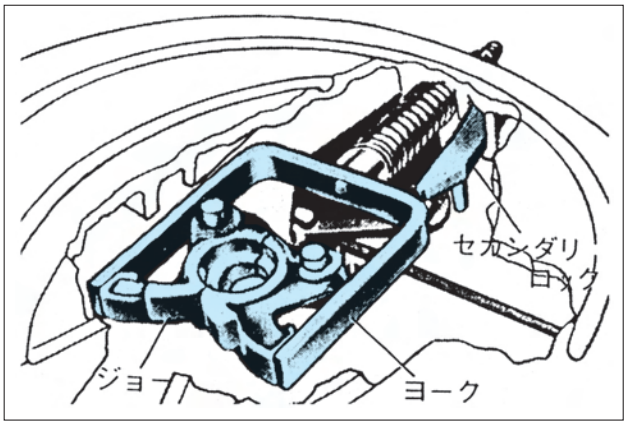


図 13

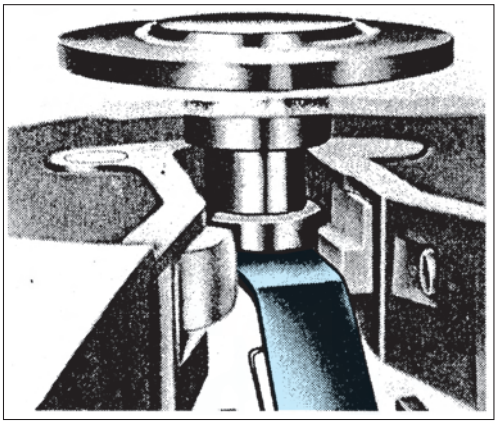


図 14

カップリングピン（キングピン）が正しく入らない場合は…

ロックガードが下がらずジョーは動かないので連結は行われません。

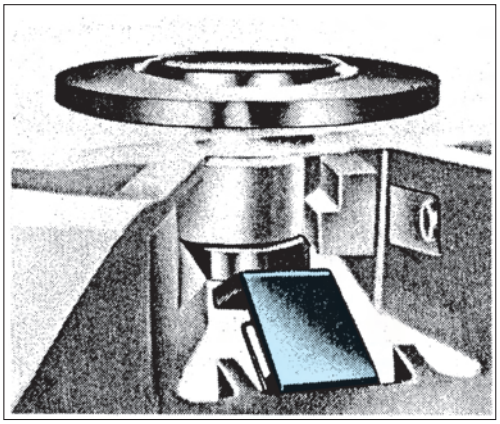


図 15

カップリングピン（キングピン）が正しく入ると…

ロックガードが押し下げられジョーは作動してカップリングピン（キングピン）の肩とくびを完全に抱き込みます。

5·3 操作機構

操作ハンドルはセカンダリロックの解除からヨークの作動までワンハンドで操作できる便利な構造となっていて、リンク機構も効率のよいカムプレート方式を採用していますので、軽い操作力でジョーを開くことができます。

連結が完全に行われたことを示すカプラロック表示ランプが運転席のメータパネル内に設けてあります。

カプラロック表示ランプを点灯するためのリミットスイッチはカプラベースの先端、図 17 の位置にあり、ヨークシャフトの動きによってスイッチが、ON·OFF となります。なお、電気系統などの故障による誤認を防止するために、ヨークシャフトの調整用ナットがクッションラバーを介してベース本体に接していることを肉眼で確認できますので、完全に連結が行われたかどうかがわかります。

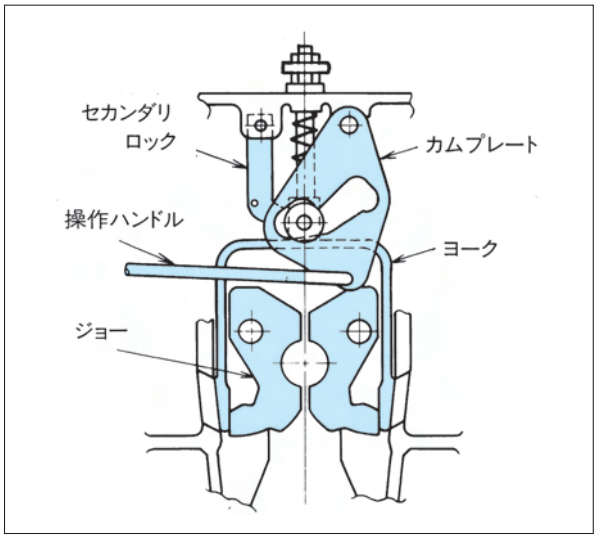


図 16

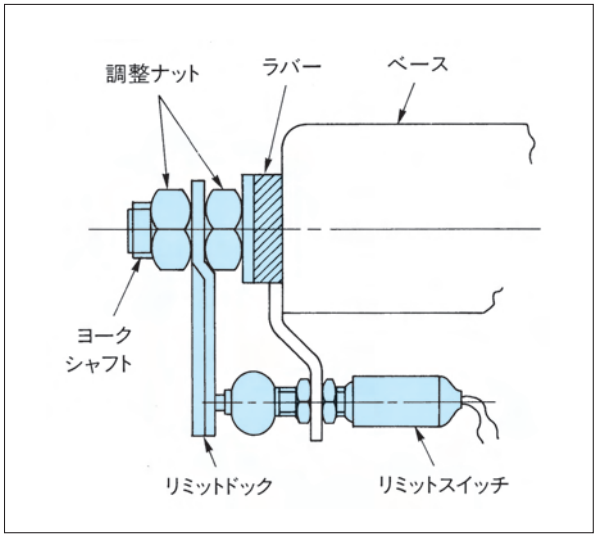


図 17

5·4 軸受機構

堅牢なビームシャフトを持ったスパイダ方式でピッチングおよびローリング運動を自由に行うことができ、かつ分解整備性にすぐれています。

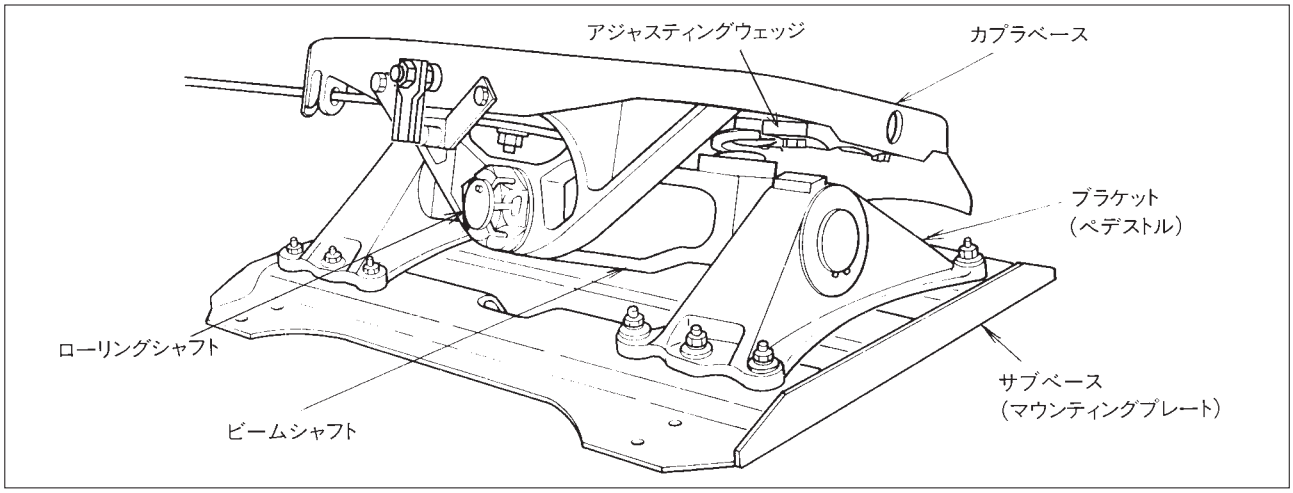


図 18

ローリング角度の調整は、ベース裏側のアジャスティングウェッジの固定ナットを緩めて、前後にスライドすることにより、0 度、3 度、6 度と 3 段階に調整出来ます。
なお、高速トレーラや高重心のトレーラを専門にけん引するトラクタで、横転や荷崩れを防止するためにローリング角度を 0 度として使用する場合には、アジャスティングウェッジを前にスライドさせて下さい。(図 20)

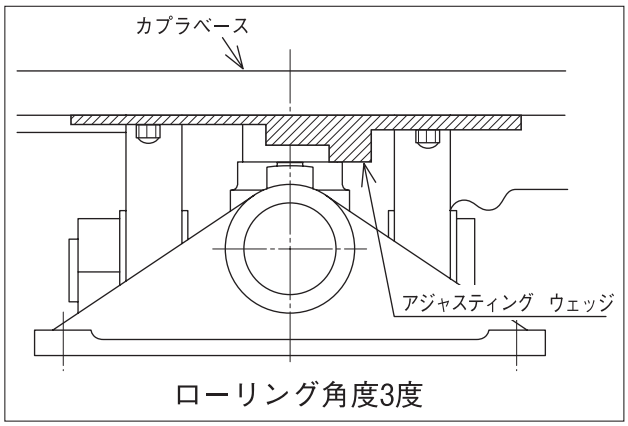


図 19

出荷時にはローリング角度は 3 度で固定されています。

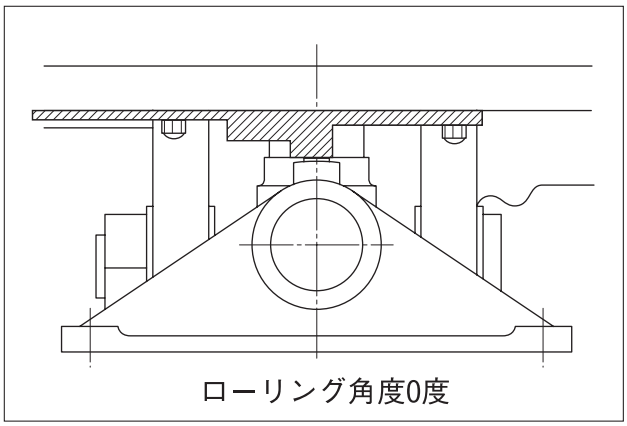


図 20

アジャスティングウェッジを前にスライドさせてローリングを止めた場合。

重機等を積載する為、低床式トレーラを連結して悪路を走行する場合には、ローリング角度を 6 度として使用することもできます。(図 21)
アジャスティングウェッジ固定ナット M14 の締め付けトルク 5.39 ～ 6.18N·m(0.55 ～ 0.63kgf·m) で締め付けてください。

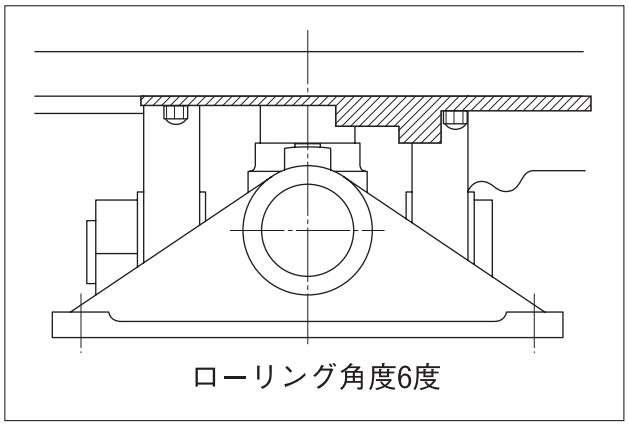


図 21

アジャスティングウェッジがフリーの場合。

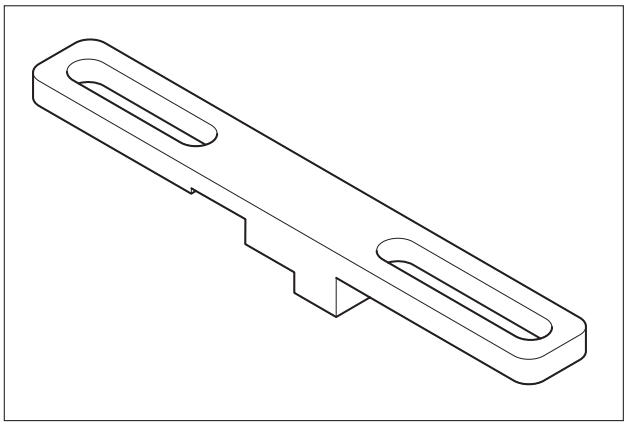


図 22

アジャスティングウェッジ

カプラのローリング角度の調整は、左右とも同じ角度で設定して下さい。

⚠ 注意

カプラのローリング角度を左右異なって設定すると、走行中トレーラのバランスが悪くなり、車両の横転や荷崩れを起こす恐れがあります。

5-5 カプラベース

カプラベースは強靭な特殊鋳鋼製で表面は平滑に仕上げられていて、3 本の油溝がありトレーラのカップリングピン（キングピン）プレートとしゅう動し、荷重を支えます。

5-6 ブラケット（ペデストル）とサブベース（マウンティングプレート）

ブラケット（ペデストル）はビームシャフトの両端軸受部を支持する強靭な特殊鋳鋼製品で、取付穴は ISO 規格及び JIS 規格に適合し、互換性が図られています。

サブベース（マウンティングプレート）はカプラ本体をシャシフレーム上に取付けるための部品で、波形状のプレス製品を使用し軽量化が図られています。

6. 点検と手入れ

6-1 点検と手入れの方法

カプラはトレーラをけん引するための重要保安部品ですから、点検は怠りなく行ってください。

(1) 保守点検作業は、手足を挟まれないように十分注意し、必ず操作ハンドルのストッパが掛かっている（ジョーが閉じている）状態で安全を確認してから行って下さい。

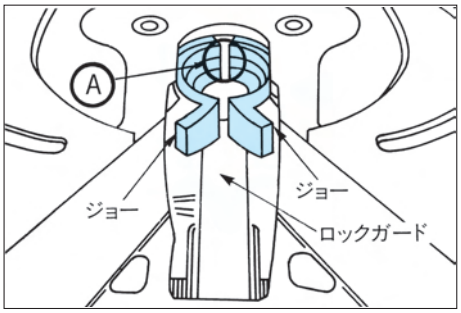


図 23

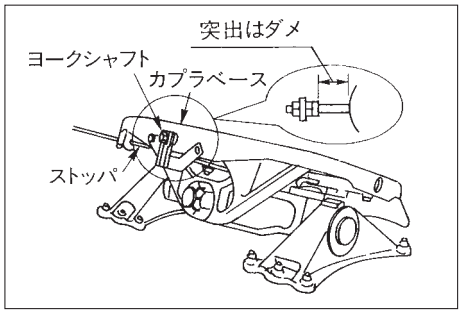


図 24

（ジョーが閉じている状態）

⚠ 注意

ジョー、カムプレート、操作ハンドルが作動し、手足が挟まれる場合がありますので、絶対に手足などを直接触れずに、周りの安全を十分確認した上で、注意して行って下さい。

アドバイス（この作業は 2 人で実施して下さい。）

点検時にジョーが開いた状態から、閉じた状態にするには、ロックガードをハンマの柄の木の部分等で下に押し下げ、対称形状で開いている二つのジョーの奥、上の部分（図 23 の A 部分）をハンマの柄の木先端で強く突くようにするとジョーが閉じられます。

6·2　日常点検

(1) トレーラを切り離しカプラの作動に異常がないか確認すると共に、カプラ上面及びトレーラのカップリングピンプレート（キングピンプレート）面に、小砂利や泥が付着していないかを点検し、汚れているときは清掃してカプラベース上面及びジョーとカップリングピン（キングピン）との接合部分にグリースを塗布して下さい。
グリースは特に高荷重、ショック荷重に耐えられる様なグラファイトグリース又は二硫化モリブデン入りグリースをご使用ください。
当社でも専用グリースを販売しております。

⚠ 注意

汚れを清掃せず、又グリースを塗布しないままで使用するとカプラベース面が傷つきやすくジョーやカプラ各しゅう動部分が正常に作動しなくなり連結不良を起こします。

(2) 続いて下記項目について点検して下さい。
ボルトの緩みは点検ハンマで確認して下さい。（図 25 参照）

記号	項　　目	点　　検
A	カプラベース面	変形、ひび割れの有無
B	ジョーとヨーク、カムプレート	変形、ひび割れの有無 磨耗の程度
C	サブベース(マウンティングプレート)とブラケット（ペデストル）　取付ボルト	ボルトの緩みがないか （下表　カプラ取付ボルトの締付トルク参照）
D	サブベース(マウンティングプレート)とカプラ架台　取付ボルト	ボルトの緩みがないか （下表　カプラ取付ボルトの締付トルク参照）
E	シャシフレームとカプラ架台　取付ボルト	ボルトの緩みがないか （下表　カプラ取付ボルトの締付トルク参照）

カプラ取付ボルトの締付トルク

カプラ取付ボルトにゆるみがあった場合には下記締付けトルクの範囲内に調整してください。（図 25 参照）

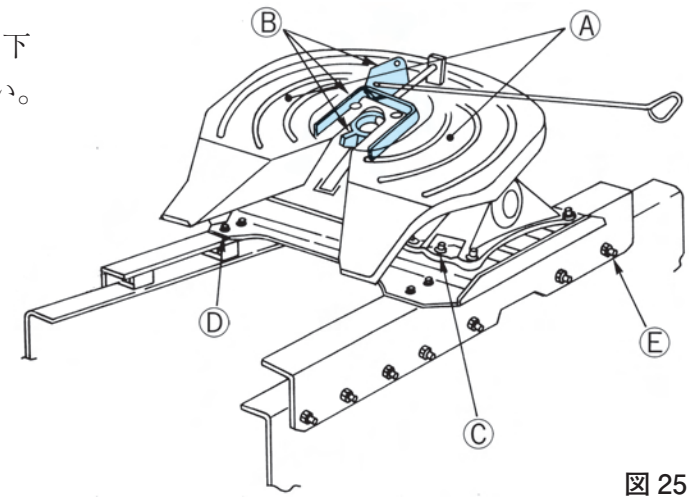


図 25

記号	点　検　箇　所	ボルト寸法	本　数	締付トルク
C	サブベース(マウンティングプレート)とブラケット(ペデストル)	M16.P=1.5	12(左、右)	180～240N•m (18～24kgf•m)
D	サブベース(マウンティングプレート)とカプラ架台	M16.P=1.5	12(左、右)	180～240N•m (18～24kgf•m)
E	シャシフレームとカプラ架台	M16.P=1.5	14(左、右)	180～240N•m (18～24kgf•m)

6·3 1ケ月毎の定期点検

(1) 常時連結される場合でも月に一度はトレーラを切り離してカプラの作動を確認すると共に前項　6・2-(2) 同様異常の無いことを確認して下さい。

⚠ 注意

連結状態のまま長期間使用すると、各部の動きが悪くなったり異常状態の発見が遅れることもあります。

(2) 前項　6·2-(1) と同様カプラベース上面及びカップリングピンプレート（キングピンプレート）面を点検、清掃した後カプラベース上面、ジョーのカップリングピン（キングピン）との接合部、及びジョーピンとジョーとのしゅう動部等に指定のグリースを十分に給脂して下さい。

グリースが不足すると、ジョーやカップリングピン（キングピン）、カプラベースのの寿命を早めるばかりでなく、各しゅう動部の錆付きにより作動不良となる場合があります。特に※印、カプラベース上面しゅう動部およびジョー穴に十分給脂してください。（図 26 参照）

※ 高荷重用グリース（固体潤滑剤入り）

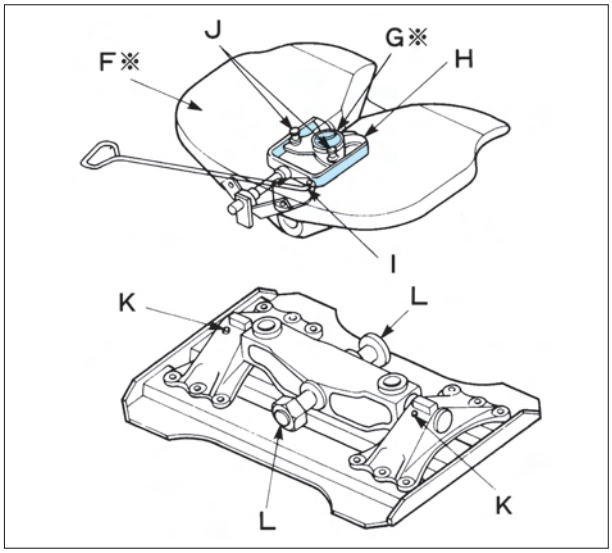


図 26

(3) ブラケット左右軸受け部(K)ローリングシャフト前後(L)についても定期的に古いグリースの清掃、給脂を行ってください。
これを怠るとピッチング及びローリング不良の原因となります。

記号	給　脂　箇　所	油　脂　種　類	実施時期
F※	カプラベース上面（しゅう動部）	高荷重用グリース （グラファイト入りグリースまたは 二硫化モリブデン入りグリース）	日　常
G※	ジョーのカップリングピン（キングピン） との接合部	同　上	同　上
H	ジョーとヨークのしゅう動部（左右２ケ所）	高荷重用グリース （グラファイト入りグリースまたは 二硫化モリブデン入りグリース） またはシャシグリース	１ヶ月毎
I	カムプレートとローラのしゅう動部	同　上	同　上
J	ジョーピンとジョーのしゅう動部給脂用 グリースニップル（左右２ケ所）	同　上	同　上
K	ブラケット左右軸受部のグリースニップル	高荷重用グリース （グラファイト入りグリースまたは 二硫化モリブデン入りグリース）	日　常
L	ローリングシャフト前後のグリースニップル	同　上	同　上

⚠ 注意

二軸カプラの「ピッチング及びローリングがしない、しぶい」などのトラブルは、グリース不足による作動部品の固着が原因で起こります。
特に積雪の多い地方、路面凍結の多い地方を走行し、道路に散布された融雪剤（塩化カルシウム）などがカプラに付着したまま放置するとさびが発生し、カプラのピッチング及びローリングの作動部分が固着して動作しなくなるなどの悪影響を及ぼします。
また、カプラ連結部のジョー部分についても、同様な使用状況によっては不具合が発生し不完全連結になる可能性もあります。
このトラブルを防ぐためにも日常点検を行い、融雪剤（塩化カルシウム）などがカプラに付着した場合にはスチーム洗浄などを行い、カプラベース上面、ジョーのカップリングピン（キングピン）との接合部、及びジョーピンとジョーとのしゅう動部等にはもちろん、ブラケット左右軸受部のグリースニップル、ローリングシャフト前後のグリースニップルに※指定の新しいグリースを日常的に十分に給脂して下さい。
※ 高荷重用グリース（固体潤滑剤入り）

6·4 6 ケ月毎の定期点検

(1) ジョーとカップリングピン（キングピン）との隙間点検及び調整を行って下さい。
このカプラはジョーとカップリングピン（キングピン）との隙間を適正に調整することにより常に快適な性能、乗り心地を発揮するようになっています。

発進等で連結部のガタが目立つようであればのちに述べる「9. ジョー内径の調整要領」に従って調整して下さい。

⚠ 注意

ジョーとカップリングピン（キングピン）との隙間が大きいまま使用を続けると各部の摩耗の進行を早めると共に損傷の原因となります。

(2) 調整を行っても連結部のガタが止まらない場合は、オーバーホールを行いのちに述べる「7. 主要部品の寸法と使用限度」に従って使用限度に達した部分は交換して下さい。
(3) ロック確認を行い操作ハンドルの戻りが悪くストッパが掛らない状態（P.5 図 9 参照）になったときは、しゅう動部分への古いグリースの固着等が考えられますのでスチーム洗浄を行い、新しいグリースを塗り直して下さい。

お客様へ!!
カプラは重要保安部品です
点検・整備は確実に!!

7. 主要部品の寸法と使用限度

区　　分	型　式	基準寸法 mm	使用限度 mm	処　　置
カップリングピン（キングピン）外径	共　通	50.8±0.1	※49.8	交　換
ジョー内径	〃	$51.0^{+0.2}_{0}$	52.0	調整または交換
カップリングピン（キングピン）とジョーの隙間	〃	0.1 ～ 0.5	2.0	〃
ジョーピン外径	〃	28.6	28.3	交　換
ジョーのジョーピン穴径	〃	28.8	29.5	〃
ジョーピンとジョーピン穴の隙間	〃	0.18 ～ 0.20	0.5	〃
カプラベース上面とジョーピン上面の段差	〃	2 ～ 3	0.5	〃
ビームシャフト外径	CD-1200	70	69.7	〃
	CD-1600	75	74.7	
	CD-2000	80	79.7	
ブッシュ内径	CD-1200	70	70.5	〃
	CD-1600	75	75.5	
	CD-2000	80	80.5	
ビームシャフトとブッシュ内径の隙間	CD-1200	0.09 ～ 0.12	0.5	シャフトまたはブッシュ交換
	CD-1600	〃	〃	
	CD-2000	〃	〃	
ローリングシャフト外径	CD-1200	60	59.7	交　換
	CD-1600	70	69.7	
	CD-2000	75	74.7	
ブッシュ内径	CD-1200	60	60.5	〃
	CD-1600	70	70.5	
	CD-2000	75	75.5	
ローリングシャフトとブッシュ内径の隙間	CD-1200	0.09 ～ 0.12	0.5	シャフトまたはブッシュ交換
	CD-1600	〃	〃	
	CD-2000	〃	〃	
ビームシャフトとベース本体との隙間	CD-1200	組付時の使用スペーサ 4.0	摩耗によりガタが発生した場合	修正用スペーサ 4.5、5.0、5.5、6.0、6.5、7.0と交換
	CD-1600			
	CD-2000			

上表の使用限度に達した部品は交換してください。

※カップリングピン（キングピン）の使用限度寸法は、当社が乗心地について推奨する値で、強度面に関する摩耗限度は、トレーラメーカの取扱説明書を御覧下さい。

セミトレーラ用第5輪カップリングピン（キングピン）の形状・寸法　JIS.D.6602 呼び50（2インチ）

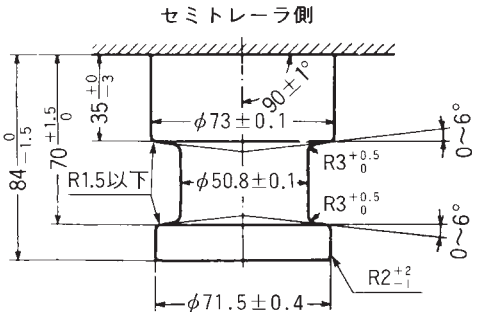


図 27

⚠ 注意

CD カプラ型は JIS.D.6602 呼び 50(2 インチ)に適合したカップリングピン(キングピン)で結合して下さい。

8. ビームシャフトとベース本体との隙間修正

ビームシャフトとベース本体との摩耗により、ガタが発生した場合には、パーツリスト見出し番号 64 に示すスペーサを摩耗の状況に応じて t4.5 ～ 7.0mm までのものの中から選定して組替してください。

9. ジョー内径の調整要領

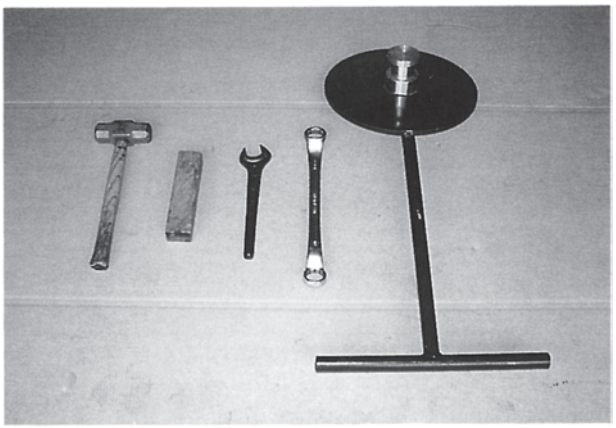
ジョー内径の摩耗によりガタが発生した場合は、ジョーの内径を調整して隙間を小さくすることができます。

ジョーの内径調整を行う場合には、下記の内容をよく読んで手足を挟まれないよう十分注意し、正しく行って下さい。

アドバイス

ジョーの内径調整は必ず、もよりのトラック販売店又は、弊社指定のサービス工場で行って下さい。

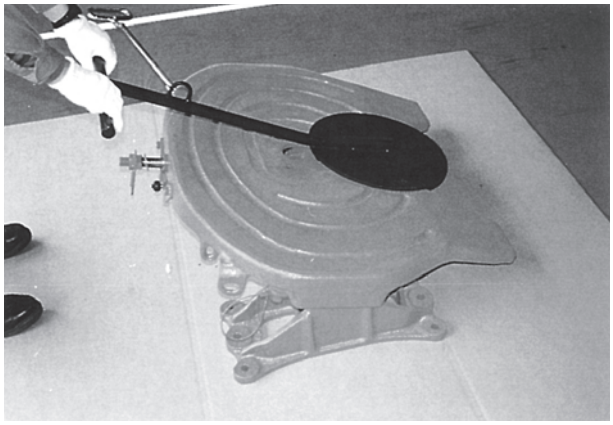
(1) 調整作業に取り掛かる前にロックテスタとスパナ 32 ミリ、メガネレンチ 32 ミリ、ハンマ等を用意して下さい。



必要工具

図 28

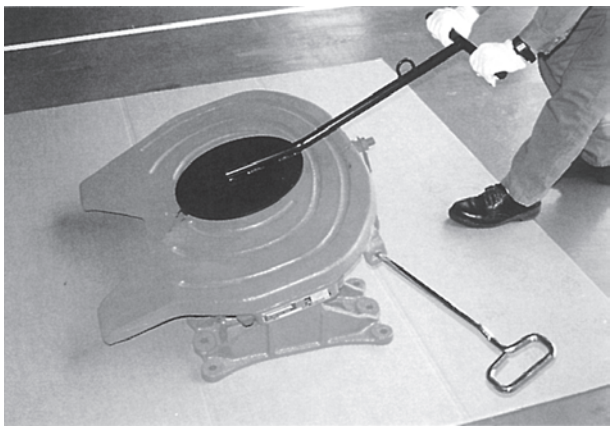
(2) ロックテスタ又はカップリングピン（キングピン）をジョーに噛ませて、連結の状態と同じにして下さい。



カップリングピン(キングピン)を噛ませる前　**図 29**

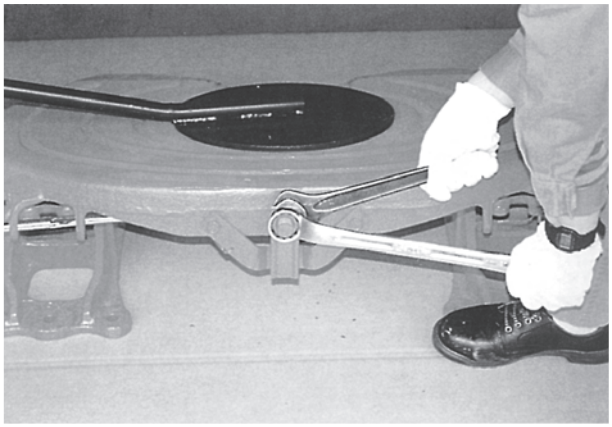
アドバイス

○ロックテスタ
（御用命は弊社部品販売課迄御連絡下さい。）



カップリングピン(キングピン)を噛ませた後　**図 30**

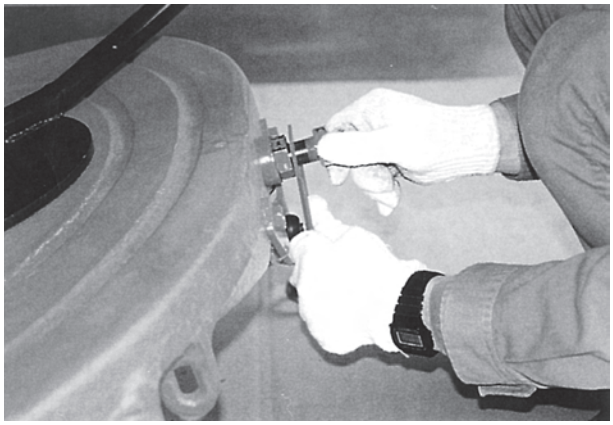
(3) カプラ前側ヨークシャフト先端部の 2 個のロックナットをゆるめ、リミットドックとロックナット 2 個をヨークシャフトのネジ先端部一杯までゆるめて下さい。
尚、ロックナットをゆるめる時に、リミットドック自体をハンマで叩いたり、ロックナットにスパナ等を噛ませ、ハンマで叩いてゆるめることは絶対にしないで下さい。



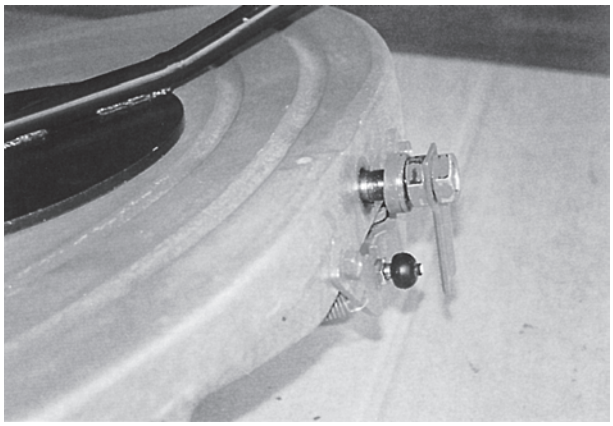
リミットドックおよびロックナットをゆるめる
図 31

⚠ 警告

リミットドック自体を叩いたり、ロックナットにスパナ等を噛ませ、ハンマで叩いてゆるめたりすると、リミットドックを壊すばかりでなくヨークシャフト部分に無理な力が掛かり、この部分が壊れ連結時及び走行時にカプラからトレーラが外れ事故になる恐れがあります。



リミットスイッチの先を指で押す　図 32

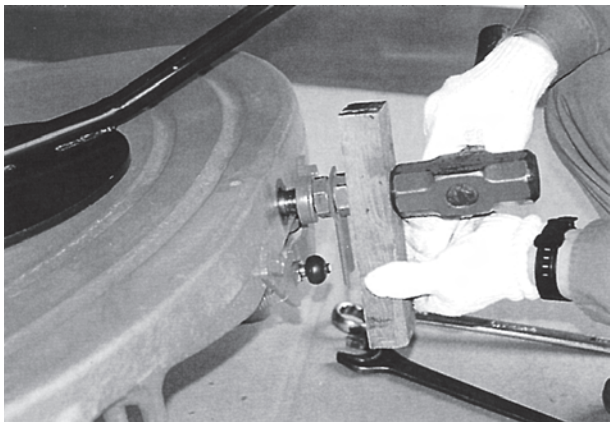


ヨークシャフトのネジ先端部一杯までゆるめる
図 33

(4) ヨークシャフトの先端部にネジを痛めないように、角材等の当て物を当て、ハンマで軽く叩き、カップリングピン（キングピン）が固くなる所までヨークシャフトを完全に中へ押し込んで下さい。

⚠ 警告

ヨークシャフトのネジ部を逆に外へ突き出す方向に調整すると、ジョーのガタが大きくなるばかりでなく、連結時及び走行時にカプラからトレーラが外れ事故になる恐れがあります。



ヨークシャフトの先端部を軽く叩く　図 34

(5) ロックテスタを手で回してみて、軽い抵抗を感じる程度までカプラベース側のロックナットを軽く締め付け、バネ秤にて 3kg ～ 4kg の所で、リミットドックをリミットスイッチに正確に当たるようにセットし、2 個のロックナットでリミットドックを完全に締め付けてください。

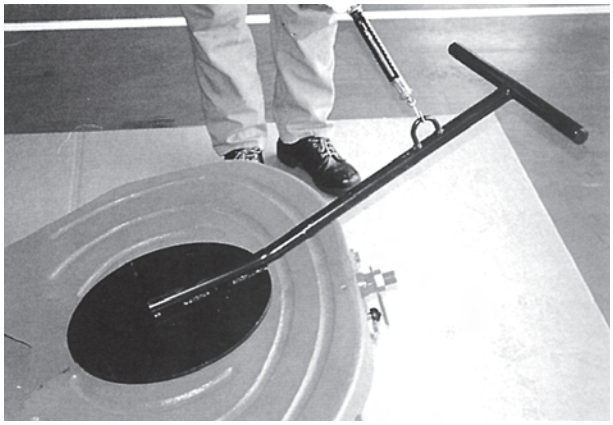


図 35

カップリングピン（キングピン）を手で左右に回して固さを見る（又はカップリングピン（キングピン）中心より 450mm の位置でバネ秤にて 3kg ～ 4kg）

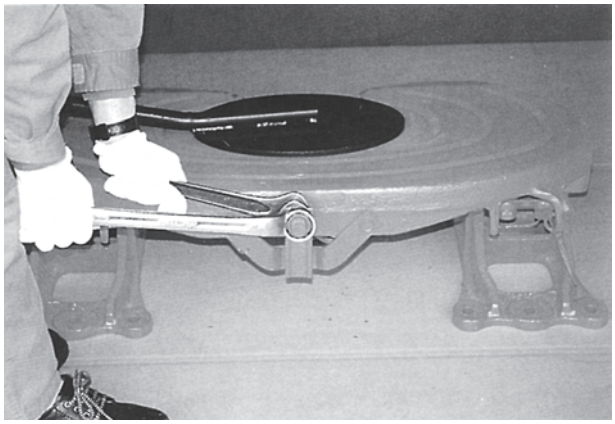


図 36

(6) 最後に、ロックテスタを前後左右に揺すり、ガタのないことを確認してから、連結、切り離し及びリミットスイッチの作動確認テストを数回行って下さい。

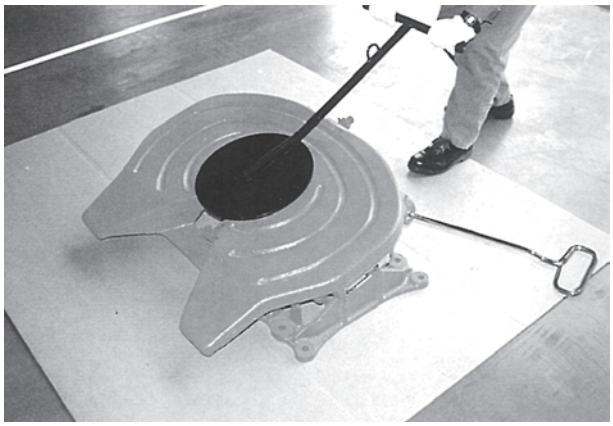


図 37

10. パーツリスト

CD-1200

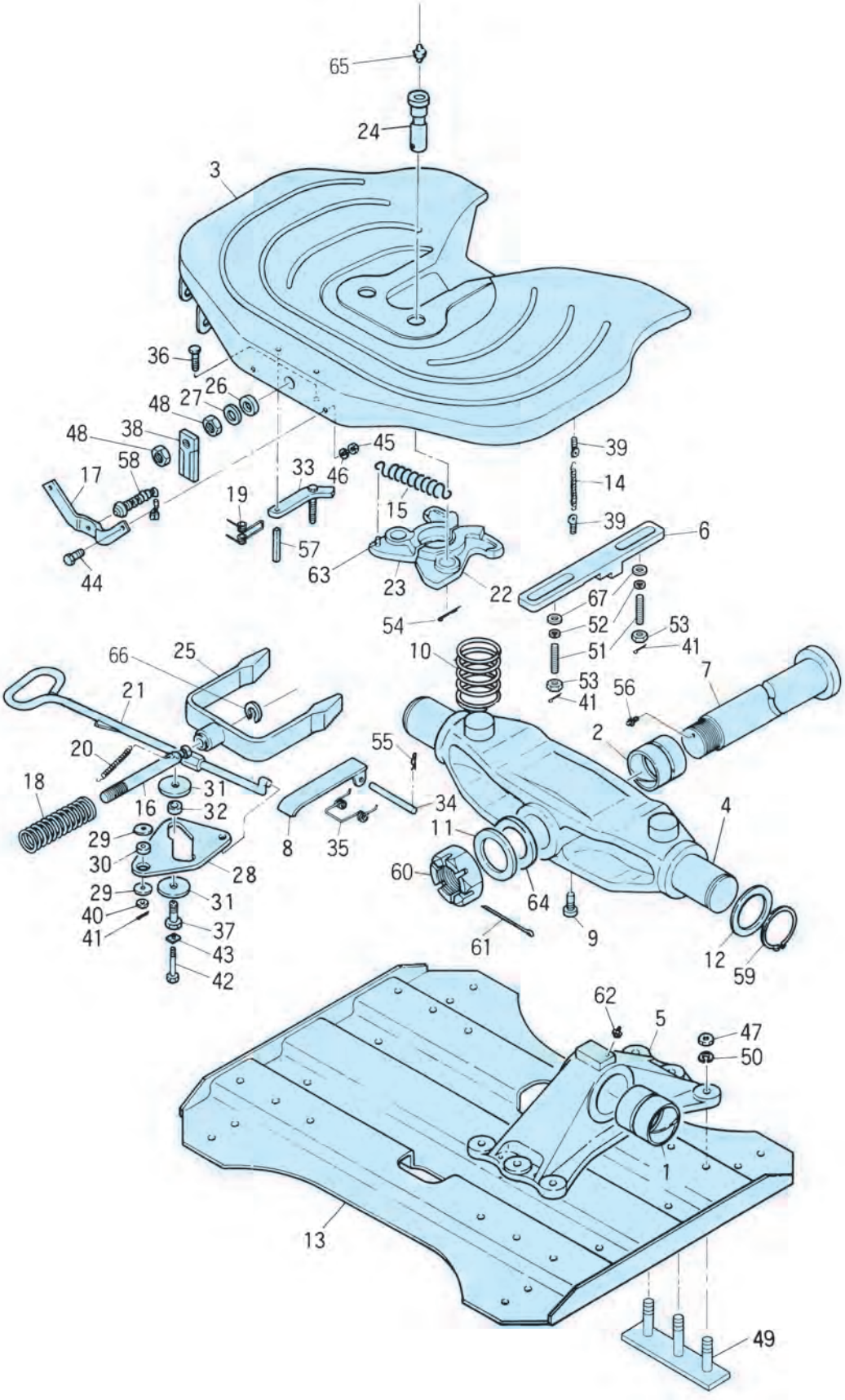


図 38

CD-1200 型カプラ

見出番号	部品名称	コード番号	個数	備考	見出番号	部品名称	コード番号	個数	備考
1	ブッシュ	12132(1016-110111)	2	TAPER	35	スプリングD	10020(1013-103800)	1	
2	ブッシュ	12135(1012-110200)	2		36	ボルト	10013(1013-105500)	1	
3	ベース	12201(1012-110911)	1	UPPER	37	ボルト	10034(1013-105700)	1	
4	ビームシャフト	12129(1012-110420)	1	φ70	38	リミットドック	10009(1013-120600)	1	
5	ブラケット	12125(1012-110511)	1	LH	39	スプリングフック	12002(1007-102200)	4	
		(1012-114100)	1	RH	40	キャッスルナット	52652(9217-12100)	1	M12P=1.25
6	アジャスティングウェッジ	(1016-111700)	2		41	ワリピン	52802(9500-30250)	5	φ3×25
7	ローリングシャフト	12134(1012-110600)	1	φ60	42	ボルト	52204(1013-105500)	1	M10×60
8	ロックガード	12000(1016-904400)	1		43	ワッシャ	10028(9279-10109)	1	□23×φ11
9	セットボトル	12006(1016-111010)	1		44	ボルト	52218(9011-12300)	2	M12×30
10	スプリング	12005(1016-111101)	2		45	ナット	52550(9201-12100)	2	M12
11	ワッシャ	12136(1012-110700)	1		46	スプリングワッシャ	82707(9290-12360)	2	φ12
12	ワッシャ	12133(1012-110810)	2	φ70	47	ナット	52507(9201-16130)	12	M16
13	サブベース	12001(1020-119000)	1		48	ナット	52510(9210-22100)	2	M22P=1.5
	(マウンティングプレート)				49	ボルト	41366	12	M16×60
14	スプリング	12003(1016-111500)	2		50	スプリングワッシャ	52709(9290-16480)	12	φ16
15	スプリング	10027(1013-117100)	1		51	スタッドボルト	(9314-14370)	4	M14×68
16	ヨークシャフト	10031(1013-111110)	1		52	スプリングワッシャ	52736(9290-14420)	4	φ14
17	スイッチブラケット	10025(1013-111200)	1		53	キャッスルナット	(9216-14160)	4	M14P=1.5
18	スプリングA	10006(1013-111302)	1		54	ワリピン	52810(9500-50500)	2	φ5×50
19	スプリングC	10022(1013-111400)	1		55	スナップピン	10026(9501-14200)	2	NO.14
20	スプリングE	10011(1013-111501)	1		56	グリースニップル	52850(9802-10100)	1	PT1/8-A
21	操作ハンドル	(1013-160700)	1		57	スプリングピン	10023(9509-12700)	1	φ12×70
22	ジョーLH	10000(1013-100200)	1		58	リミットスイッチ	51700	1	三菱用
23	ジョーRH	10001(1013-100500)	set				51739		いすゞ用
24	ジョーピン	10029(1013-120701)	2		59	スナップリング	12138(981270250A)	2	軸用S-70
25	ヨーク	10004(1013-906000)	1		60	キャッスルナット	12137(921756340)	1	M56×34H
26	ラバー	10007(1013-101600)	1						P=1.5
27	ワッシャA	10008(1013-101700)	1		61	ワリピン	52800(9500-80110)	1	φ8×110
28	カムプレート	10012(1013-102300)	1		62	グリースニップル	52851(9802-10102)	2	PT1/8-C
29	ワッシャB	10014(1013-102600)	2		63	溝付ピン	10099(9509-826BX)	2	φ8×26.BX型
30	ローラA	10015(1013-102700)	1		64	スペーサ	12130(1012-113400)	1	t4～7
31	ワッシャC	10016(1013-102800)	2		65	グリースニップル	52850(9822-06101A)	2	
32	ローラB	10017(1013-102900)	1		66	スナップリング	10032(9812-22120A)	1	
33	セカンダリロック	10021(1013-907300)	1		67	ワッシャ	(9260-14270)	4	φ14
34	ピン	10019(1013-103700)	1						

注 1. 部品発注の際はコード番号、部品名称、所要数、シャシ形式およびシャシ番号をご連絡ください。
2. コード番号の（ ）はソーシン部品番号を示す。

CD-1600

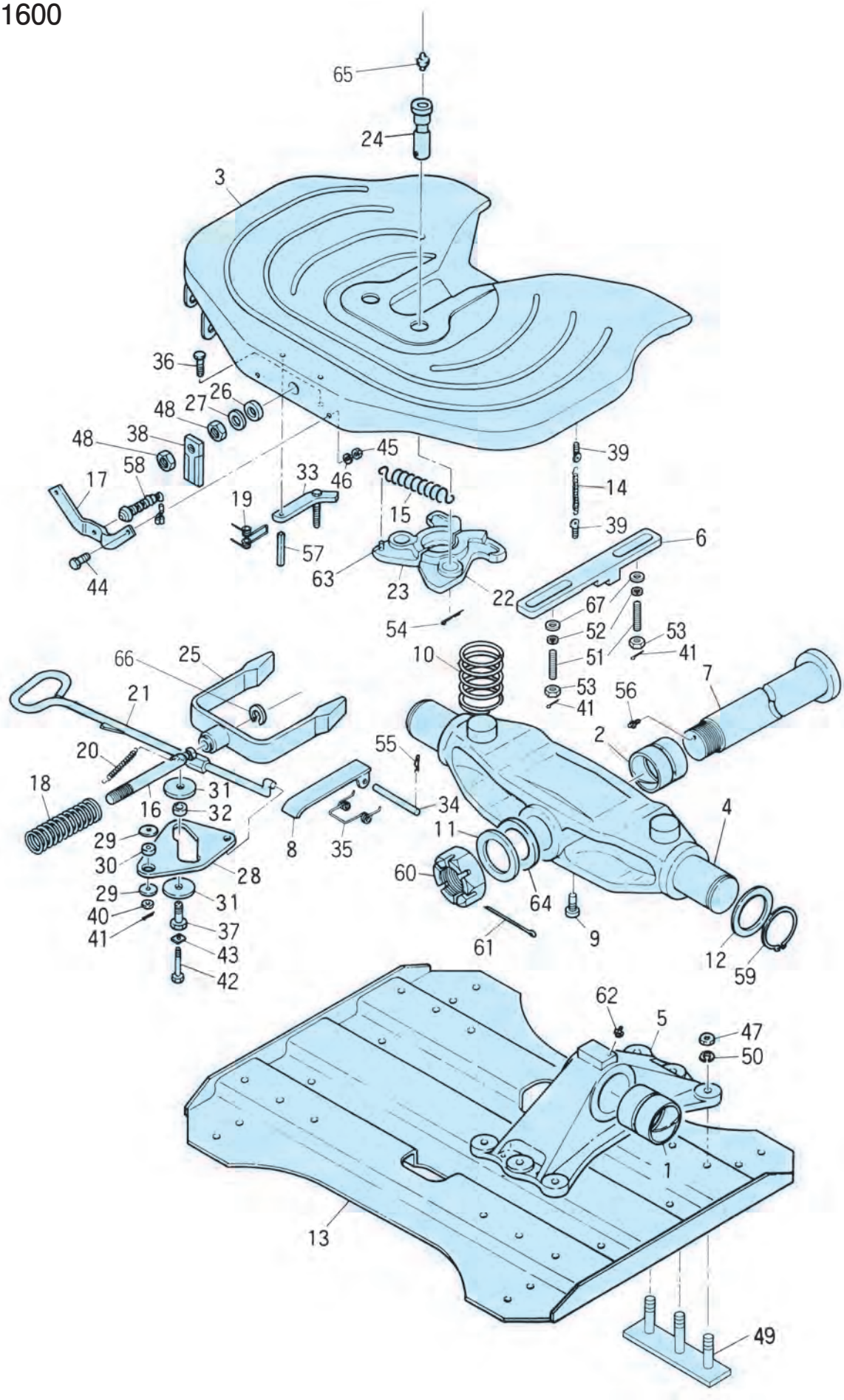

65
24
3
36
26
27
48
48
38
58
17
44
45
46
33
19
57
63
15
23
22
39
14
39
6
67
52
51
53
41
53
41
54
10
66
25
21
20
18
16
31
32
29
30
28
29
31
40
37
41
43
42
8
35
55
34
11
60
64
9
61
56
7
2
4
12
59
62
5
47
50
1
13
49

図 39

CD-1600 型カプラ

見出番号	部品名称	コード番号	個数	備考	見出番号	部品名称	コード番号	個数	備考
1	ブッシュ	12332(1020-110111)	2	TAPER	35	スプリングD	10020(1013-103800)	1	
2	ブッシュ	12335(1016-110200)	2		36	ボルト	10013(1013-105500)	1	
3	ベース	12401(1016-111411)	1	UPPER	37	ボルト	10034(1013-105700)	1	
4	ビームシャフト	12329(1016-110430)	1	φ75	38	リミットドック	10009(1013-120600)	1	
5	ブラケット	12325(1016-110511)	1	LH	39	スプリングフック	12002(1007-102200)	4	
		(1016-110521)	1	RH	40	キャッスルナット	52652(9217-12100)	1	M12P=1.25
6	アジャスティングウェッジ	(1016-111700)	2		41	ワリピン	52802(9500-30250)	5	φ3×25
7	ローリングシャフト	12334(1016-110711)	1	φ70	42	ボルト	52204(1013-105500)	1	M10×60
8	ロックガード	12000(1016-904400)	1		43	ワッシャ	10028(9279-10109)	1	□23×φ11
9	セットボトル	12006(1016-111010)	1		44	ボルト	52218(9011-12300)	2	M12×30
10	スプリング	12005(1016-111101)	2		45	ナット	52550(9201-12100)	2	M12
11	ワッシャ	12136(1016-111200)	1		46	スプリングワッシャ	82707(9290-12360)	2	φ12
12	ワッシャ	12133(1016-111310)	2	φ75	47	ナット	52507(9201-16130)	12	M16
13	サブベース	12001(1020-119000)	1		48	ナット	52510(9210-22100)	2	M22P=1.5
	(マウンティングプレート)				49	ボルト	41366	12	M16×60
14	スプリング	12003(1016-111500)	2		50	スプリングワッシャ	52709(9290-16480)	12	φ16
15	スプリング	10027(1013-117100)	1		51	スタッドボルト	(9314-14370)	4	M14×68
16	ヨークシャフト	10031(1013-111110)	1		52	スプリングワッシャ	52736(9290-14420)	4	φ14
17	スイッチブラケット	10025(1013-111200)	1		53	キャッスルナット	(9216-14160)	4	M14P=1.5
18	スプリングA	10006(1013-111302)	1		54	ワリピン	52810(9500-50500)	2	φ5×50
19	スプリングC	10022(1013-111400)	1		55	スナップピン	10026(9501-14200)	2	NO.14
20	スプリングE	10011(1013-111501)	1		56	グリースニップル	52850(9802-10100)	1	PT1/8-A
21	操作ハンドル	(1013-160700)	1		57	スプリングピン	10023(9509-12700)	1	φ12×70
22	ジョーLH	10000(1013-100200)	1		58	リミットスイッチ	51700	1	三菱用
23	ジョーRH	10001(1013-100500)	set				51739		いすゞ用
24	ジョーピン	10029(1013-120701)	2		59	スナップリング	12338(981270250A)	2	軸用S-75
25	ヨーク	10004(1013-906000)	1		60	キャッスルナット	12337(1016-111600)	1	M64×38H
26	ラバー	10007(1013-101600)	1						P=1.5
27	ワッシャA	10008(1013-101700)	1		61	ワリピン	52800(9500-10130)	1	φ10×130
28	カムプレート	10012(1013-102300)	1		62	グリースニップル	52851(9802-10102)	2	PT1/8-C
29	ワッシャB	10014(1013-102600)	2		63	溝付ピン	10099(9509-826BX)	2	φ8×26.BX型
30	ローラA	10015(1013-102700)	1		64	スペーサ	12330(1016-112100)	1	t4～7
31	ワッシャC	10016(1013-102800)	2		65	グリースニップル	52850(9822-06101A)	2	
32	ローラB	10017(1013-102900)	1		66	スナップリング	10032(9812-22120A)	1	
33	セカンダリロック	10021(1013-907300)	1		67	ワッシャ	(9260-14270)	4	φ14
34	ピン	10019(1013-103700)	1						

注 1. 部品発注の際はコード番号、部品名称、所要数、シャシ形式およびシャシ番号をご連絡ください。
2. コード番号の（ ）はソーシン部品番号を示す。

CD-2000

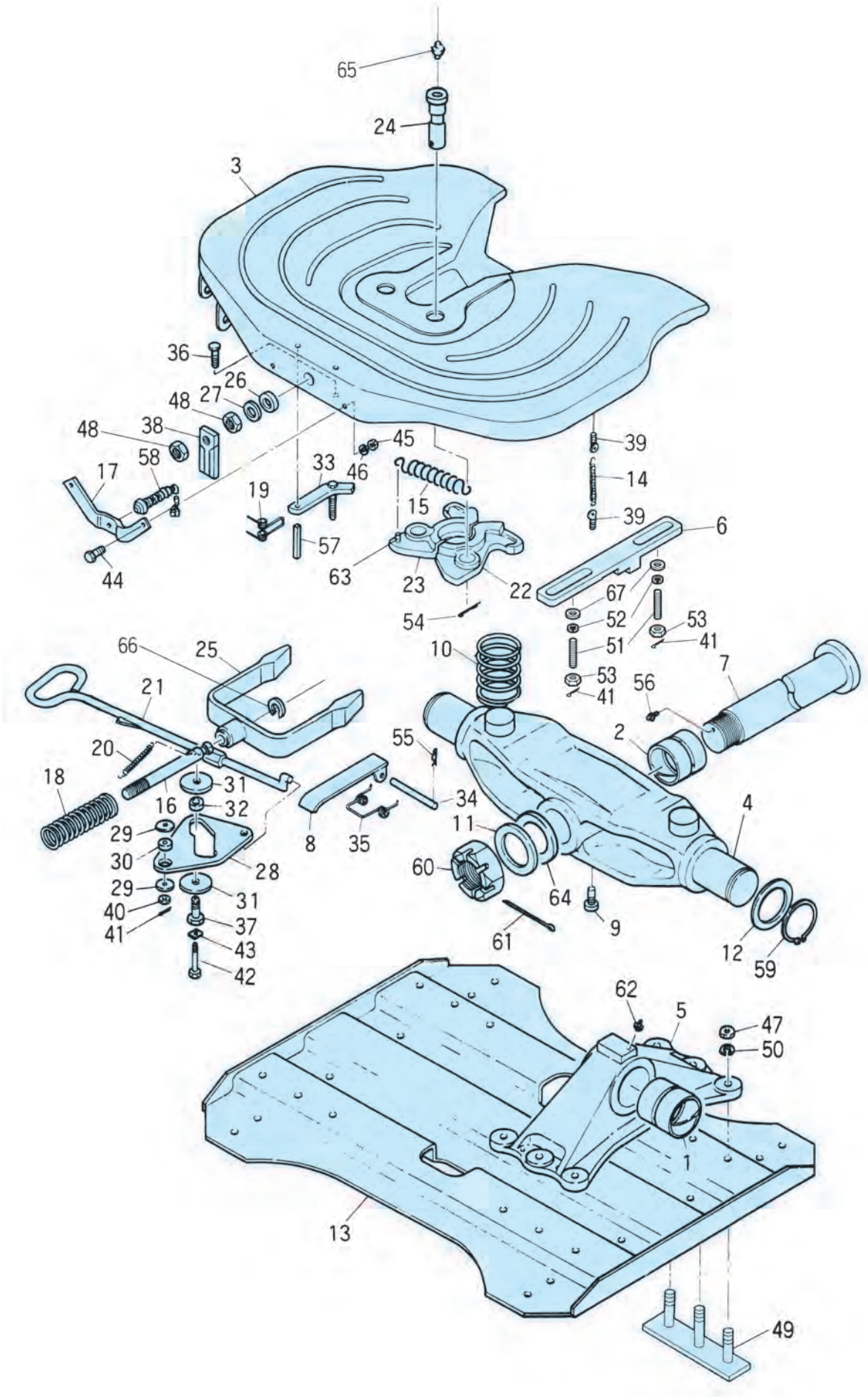

65
24
3
36
26
27
48
48
38
45
58
33
46
17
19
15
39
14
39
6
57
63
23
22
44
67
52
53
41
54
51
53
41
66
25
10
7
21
56
2
20
55
18
31
34
16
32
4
29
11
8
35
30
28
60
64
29
31
9
40
37
61
12
59
41
43
42
62
5
47
50
1
13
49

図 40

CD-2000 型カプラ

見出番号	部品名称	コード番号	個数	備考	見出番号	部品名称	コード番号	個数	備考
1	ブッシュ	12532(1025-110111)	2	TAPER	35	スプリングD	10020(1013-103800)	1	
2	ブッシュ	12535(1020-113000)	2		36	ボルト	10013(1013-105500)	1	
3	ベース	12601(1020-113511)	1	UPPER	37	ボルト	10034(1013-105700)	1	
4	ビームシャフト	12531(1020-112800)	1	φ80	38	リミットドック	10009(1013-120600)	1	
5	ブラケット	12525(1020-112912)	1	LH	39	スプリングフック	12002(1007-102200)	4	
		(1020-117601)	1	RH	40	キャッスルナット	52652(9217-12100)	1	M12P=1.25
6	アジャスティングウェッジ	(1016-111700)	2		41	ワリピン	52802(9500-30250)	5	φ3×25
7	ローリングシャフト	12534(1012-113100)	1	φ75	42	ボルト	52204(1013-105500)	1	M10×60
8	ロックガード	12000(1016-904400)	1		43	ワッシャ	10028(9279-10109)	1	□23×φ11
9	セットボトル	12006(1016-111010)	1		44	ボルト	52218(9011-12300)	2	M12×30
10	スプリング	12005(1016-111101)	2		45	ナット	52550(9201-12100)	2	M12
11	ワッシャ	12136(1016-111200)	1		46	スプリングワッシャ	82707(9290-12360)	2	φ12
12	ワッシャ	12133(1016-111310)	2	φ80	47	ナット	52507(9201-16130)	12	M16
13	サブベース	12001(1020-119000)	1		48	ナット	52510(9210-22100)	2	M22P=1.5
	(マウンティングプレート)				49	ボルト	41366	12	M16×60
14	スプリング	12003(1016-111500)	2		50	スプリングワッシャ	52709(9290-16480)	12	φ16
15	スプリング	10027(1013-117100)	1		51	スタッドボルト	(9314-14370)	4	M14×68
16	ヨークシャフト	10031(1013-111110)	1		52	スプリングワッシャ	52736(9290-14420)	4	φ14
17	スイッチブラケット	10025(1013-111200)	1		53	キャッスルナット	(9216-14160)	4	M14P=1.5
18	スプリングA	10006(1013-111302)	1		54	ワリピン	52810(9500-50500)	2	φ5×50
19	スプリングC	10022(1013-111400)	1		55	スナップピン	10026(9501-14200)	2	NO.14
20	スプリングE	10011(1013-111501)	1		56	グリースニップル	52850(9802-10100)	1	PT1/8-A
21	操作ハンドル	(1013-160700)	1		57	スプリングピン	10023(9509-12700)	1	φ12×70
22	ジョーLH	10000(1013-100200)	1		58	リミットスイッチ	51700	1	三菱用
23	ジョーRH	10001(1013-100500)	set				51739		いすゞ用
24	ジョーピン	10029(1013-120701)	2		59	スナップリング	12537(981280250A)	2	軸用S-80
25	ヨーク	10004(1013-906000)	1		60	キャッスルナット	12337(1016-111600)	1	M64×34H
26	ラバー	10007(1013-101600)	1						P=1.5
27	ワッシャA	10008(1013-101700)	1		61	ワリピン	52800(9500-10130)	1	φ10×130
28	カムプレート	10012(1013-102300)	1		62	グリースニップル	52851(9802-10102)	2	PT1/8-C
29	ワッシャB	10014(1013-102600)	2		63	溝付ピン	10099(9509-826BX)	2	φ8×26.BX型
30	ローラA	10015(1013-102700)	1		64	スペーサ	12530(1020-116000)	1	t4～7
31	ワッシャC	10016(1013-102800)	2		65	グリースニップル	52850(9822-06101A)	2	
32	ローラB	10017(1013-102900)	1		66	スナップリング	10032(9812-22120A)	1	
33	セカンダリロック	10021(1013-907300)	1		67	ワッシャ	(9260-14270)	4	φ14
34	ピン	10019(1013-103700)	1						

注 1. 部品発注の際はコード番号、部品名称、所要数、シャシ形式およびシャシ番号をご連絡ください。
2. コード番号の（ ）はソーシン部品番号を示す。